

日下部博士の一大發明になる

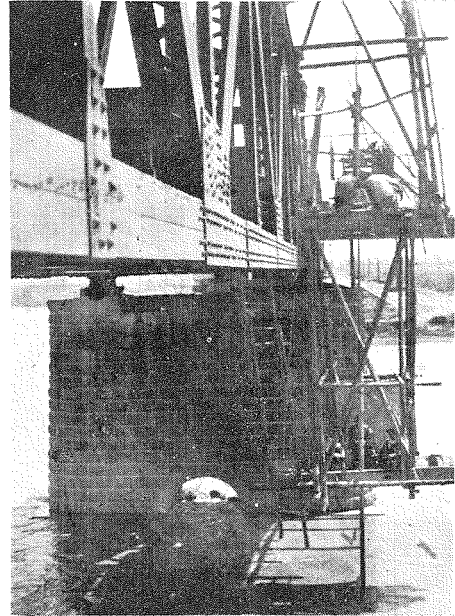
TN式ユニバーサル試錐機

ボーリング機械の精巧なるものは從來殆んど外國製品であつたが、今回ボーリング作業に對し多年實地研究に没頭せられたる斯界の權威者工學博士日下部義太郎氏に依り完全なるものが發明され利根商會から製作發賣されるに至つた。此の機械はユニバーサルと稱する如くシヨット式、ダイヤモンド試錐、キーストン式等を併用したるもので一臺の据付にて能く廻轉式と衝擊式とに使用出来るものである。然も一切の設備機械費が低廉にして能率の多大なるは國産品として最も推賞すべきである。(使用希望者は工事畫報社工事研究会に紹介を乞ふ)

寫眞は本年五月十日北海道室蘭本線の山仁川夕張川合流地點の本機使用作業中の景である。尙ほ本機發明の名稱及び概要は次の通りである。

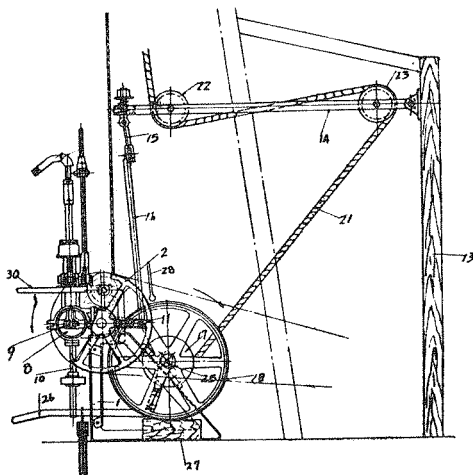
廻轉衝擊兩式併用地質採取掘鑿機

本發明 は廻轉式掘鑿機に於ける水平廻轉軸



上部作業は機械の運轉及操縦

下部作業はコア取出し鐵管接續



の兩端なる調車と勢輪とのアーム上に夫々ピンを嵌脱自在に取付け、而して衝擊搖動桿の搖動端に上端を樞着せる倒U字形の連接桿の兩脚下端を夫々該ピンに樞着せしめ、又該水平廻轉軸上の該調車に隣接せる遊び車と磨擦傳動車を一體に形成し、之に對して綱捲胴の軸端なる磨擦傳動車及サンドライン捲胴の軸端なる磨擦傳動車を別々に繋脱し得る如くなしたる事を特徴とする廻轉衝擊兩式併用地質採取掘鑿機に係り、其目的とする處は掘鑿中地層の硬軟其他の情況に應じ機臺を動す事なく簡單なる部分的變換のみによりて隨時廻轉衝擊兩式の何れにも變へて使用し得られ以て掘鑿能率を著しく向上せんとするにあり。